

推進テーマ

幼保小相互の連携を深め、
子どものよりよい育ちをつくるためのかかわりの在り方を探る
～ふれ合う、知り合う、深め合う～

帷子地区

スカイハイツ幼稚園

横浜市天王町保育園

帷子小学校

推進テーマ設定の理由

幼保小相互の職員が知り合うことで、目指す子どもの姿を共有し、連携することができる。

その中で、どのような交流がより、子どもの育ちに有効かかわりの在り方を実践する。

推進内容

- ・ 幼保小それぞれの子どもの様子、取組を理解するとともに目指す子どもの姿の共有を図る。
- ・ 職員間交流を深め、子どもを中心としたよりよい育ちの場、手立てを研究する。
- ・ 交流活動の在り方について、双方向で意見を交わし、より効果的な内容を研究、実践していく。

今年度の重点課題 ～今年度力を入れたこと～

まずはやってみよう！

帷子地区にとって今年度から始まった事業であるため、いろいろわからないことがあったり、手探りの状態になったりするかもしれないが、これまでやってきている子ども同士の間をベースにまずは取り組んでみよう。

「幼児、児童の育ちや学びの連続性」という観点での交流、お互いの保育・教育現場の参観、職員同士の交流など。

連携推進地区事業の実際～子どもと職員の交流～

スタートカリキュラム



5月中旬、1年生のスタートカリキュラムの一環として、スカイハイツ幼稚園・天王町保育園の先生が1年生に読み聞かせや手遊びをしてくださいました。

保育体験・保育参観



7月下旬に帷子小学校の職員が、スカイハイツ幼稚園・天王町保育園を訪問し、保育体験や保育参観を行いました。

連携推進地区事業の実際～職員間交流～

授業参観

12月21日、2月1日に帷子小学校で行われた道徳科の公開授業をスカイハイツ幼稚園・天王町保育園の先生が参観しました。

連携推進地区事業の実際～職員間交流～

合同研修会（講演会）



8月下旬、帷子小学校にて、3校・園の先生が集まり、合同研修会を行いました。まこと幼稚園園長の松本雄一郎先生をお招きし、講演会を行いました。現在は幼稚園の園長ですが、小学校の教員を経験されていた経験があるので、幼保小のつながりについて説得力のあるお話をいただきました。

連携推進地区事業の実際～職員間交流～

合同研修会（情報交換）



松本先生の講演会の後は、グループに分かれ、情報交換を行いました。各校・園での取組や子どもたちの様子について話し合いました。

連携推進地区事業の実際～子ども同士の交流～

4年生との交流



12月中旬、4年生が総合的な学習の時間の取組でスカイハイツ幼稚園の年長児と交流しました。クイズやレクをして楽しみました。

1・2・5年生との交流



1月中旬、1年生・2年生・5年生が天王町保育園の年長児と交流しました。1年生は学校案内と1年生体験、2年生は生活科で作ったおもちゃでの交流、5年生は教科にちなんだレクを考え、園児とふれ合いました。2月には、同様の内容でスカイハイツ幼稚園の年長児と交流します。

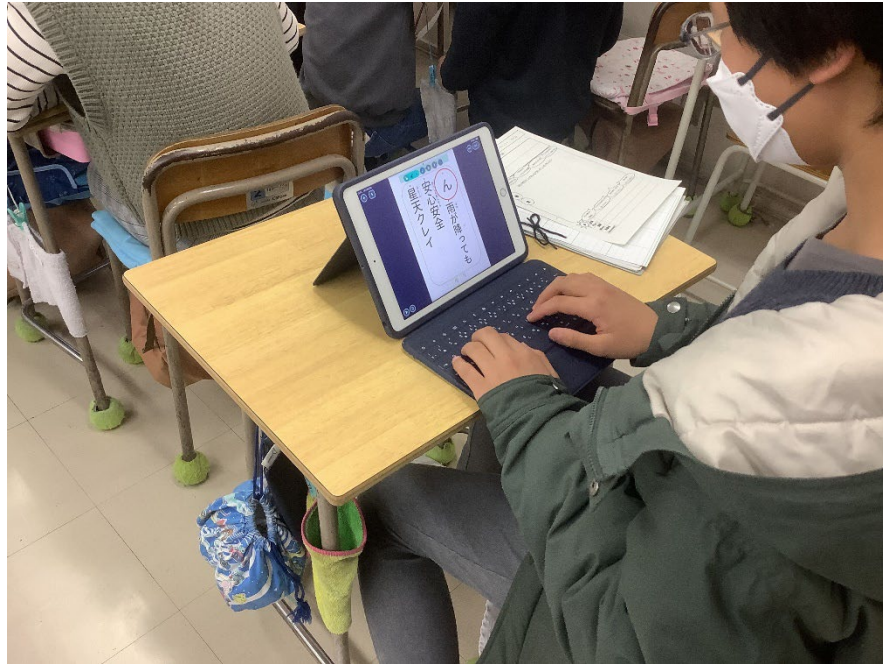
連携推進地区事業の実際～子ども同士の交流～

3年生との交流



1月下旬、3年生が区音楽会で歌唱・演奏した曲をスカイハイツ幼稚園の年長児に披露しました。

6年生との交流



6年生は総合的な学習の時間の取組として、オリジナルかるたを作ります。スカイハイツ幼稚園、天王町保育園にプレゼントし、一緒に遊んで交流をします。

成果と課題

<成果>

- ・職員同士の交流ができた。お互いの学校や園を行き来し、話ができる機会があったので、顔がわかる関係になれた。来年度以降の交流がしやすくなった。
- ・帷子小学校の児童は、スカイハイツ幼稚園、天王町保育園でお世話になった先生が来てくれることを喜んでいた。
- ・スカイハイツ幼稚園、天王町保育園の年長児に対して、自分が通うかもしれない小学校に来て、小学生のお兄さん、お姉さんと交流することは、来年度1年生になるにあたっての期待を抱かせることができた。
- ・全学年がスカイハイツ幼稚園か天王町保育園、もしくは両方の園児と交流できた。

<課題>

- ・年長児との交流がメインになりがちなので、年長児以外との交流はできないか。
- ・小学生が園児を招待する形（小学生→園児）になるのが多くなってしまっているので、園児→小学生の交流はできないか。